

第一テサロニケ4章です。 9節から12節です。可能であれば、お立ち下さい。私が読みますから、一緒に黙読してください。 立てない方は座ったままで結構です。使徒パウロは、聖霊によって続けてこの教会に書いています。このテサロニケの教会を彼はとても愛しています。

第一テサロニケ4章9-12節

9 兄弟愛については、何も書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを 神から教えられた人たちだからです。

10 実にマケドニヤ全土のすべての兄弟たちに対して、あなたがたはそれを実行しています。しかし、兄弟たち。あなたがたにお勧めします。どうか、さらにますますそうであってください。

11 また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をするを志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい。

12 外の人々に対してもりっぱにふるまうことができ、また乏しいことがないようにするためです。

一緒に、祈りましょう。神が私たちの理解のために、これを祝福してくださるようお願いしましょう。

主よ、ありがとうございます。愛なる天のお父様、今この時、あなたにしかできないことですから、聖霊によって私たちの思いを静め、心を落ち着かせ、私たちの注意を集中させてください。

あなただけができるとおりに、その聖霊のかすかな細い声で語られることを私たちが聞くことができるように。それで、主よ。お話しください、主よ。あなたのしもべは聞いています。

イエスの御名において。アーメン。アーメン。

お座りください。ありがとうございます。いいでしょう。画面上でお分かりのように、私は今日の教えのタイトルを次の通りにしました。

「生活のボリュームを下げる」

私は、今日の教えの前に、前置きとして告白する必要があります。私は非常に正直になって、皆さんに言わなければなりません。これは私の人生において、私が大変苦闘する領域であります。私の人生の中で、主が長年にわたって働きかけてこられた領域です。これは私にとって大きな問題であり、長年にわたって続いてきたものです。とりわけ、人生が騒々しく、忙しくなる時に生活のボリュームを下げることに関連して。そして人生は騒々しくなり、忙しくなります。特に、あらゆることが 私たちの注目を要求している日には。今日私がしたいことは、恩恵と祝福について話すことです。それは、使徒パウロが書いているように、落ち着いたクリスチャン生活をするを志し、これを希望し、これを実行しようとする人たちに与えられるものです。私は祝福、特典を二つ見つけました。皆さんはもっと見つけるかもしれません。しかし、私が見つけた二つのものが、私がお話したいことで、私たちの人生を劇的に変える可能性があるものだと思います。最初のもは9節と10節にあります。興味深いのですが、私たちが神に属する人々に対して、より多くの愛を抱くようになるというものです。とても興味深いと思います。パウロは再び、先にしたように、彼らを称賛しています。今回は、互いに対する彼らの愛のためです。パウロは彼らを励まし、さらには、ますますそうするように彼らに勧めますが、この愛はこれらのテサロニケの信者を特徴づけるもののようです。

さて、ここで質問です：彼らのどういうところが、彼らをそんなに愛させたのでしょうか？ 彼らのどういうところが、彼らに互いをそんなに愛し合わせたのでしょうか？ これは愛ある教会でした。この教会は、もし皆さんがそこに行って、出席して、この教会を訪問すると、皆さんが最初に見て、気づき、観察するのは、

「うわー、これはとても歓迎してくれる、愛のある教会だ」ということです。彼らはとにかくお互いを愛していました。それで、彼らにそんなに愛があったのはどういうわけで、なぜなのでしょう？

その答えは9節にあります。最初に読んだ時は見逃しがちです。パウロが、彼らは互いのことをとてもよく

愛し合っていると言っているところに注目してください。実際、彼らは実行している、と。

そして彼はその理由を述べています。それは、神が彼らに愛することを教えたからです。へえ。ちょっと待って！ 神が、それほどまでに互いに愛し合うことを彼らに教えられた、と？ そうです。でも先生、なぜそのことをこんなに重大視しているのですか？ なぜなら...そこに暗示されているのは、こういうことです。神が彼らにこれほど互いを愛し合うことを教えるためには、彼らに学ぶ意欲がなければならなかったことを意味しています。彼らに聞く耳がなければならなかったことを。そして、このように愛することを、主から教えていただく意欲がなければならなかったことを。言い換えれば、彼らが聞き入れたということを示しているように思えます。そして、彼らには、愛に関して神が彼らに教えようと望まれたことを聞く耳、見る目、受け取る心があったようです。

私が人生で最も苦労することの一つは、生活のボリュームを下げることです。主が私の人生に語ってくださるのを聞くことができるように。それは私が非常に苦闘するところです。

私が高校生だったとき、ボウマン先生という先生がいました。素晴らしい先生です。実際、私はある時同窓会で、私が説教の説明に、彼のことをよく持ち出していることを彼に伝える機会がありました。

先生はとても喜んでくださいました。彼はこういう先生たちの一人でした。彼が話したとき...まず第一に、彼は単調な話し方をしました。単調って、お分かりですね。語調が1つだけです。彼らはただ一つの語調だけで話します。また、彼は非常に静かに話しました。私は彼の初日の授業を決して忘れません。

私は冗談だと思いました。もちろん、私は、高校はすべてが冗談だと思っていましたけど。私は「マジかよ？」と思いました。私たちはみんなうるさくて、ガヤガヤと騒いでいました。彼は教室に入ってくると、黒板を背にして、机の後ろに立ち、そして、非常に静かに話し始めます。

「さて、みなさん、席に着いてください。」 誰にも彼の声が聞こえませんでした。私は彼の唇が動いている、彼が実際に話していることに気づきました。私は、「ねえ！声を上げてよ！ボウマン先生、聞こえませんかよ！」彼の返事は「いいえ、これが私の話し方です。私が言っていることを聞きたいですか？

それなら、君たちが静かにしなければいけません。」

それで、何と言うか、まあ、もちろん、私は信者ではありませんでした。私は19歳まで救われませんでしたから。しかし、長年にわたって、私はそのことを追想してきました。それは、まるで主が私に言われているようなんです。

「わたしはボウマン先生と似ている。」 「わたしの話を聞きたいですか？」 「これがわたしの話し方だ。」

「そして、わたしはあなたの人生にあるすべての騒音と競争するつもりはない。」

「それに、わたしは大声で叫ぶことはありません。」

「いいえ、わたしが話すときは、わたしはかすかな細い声で話します。」

これで年がバレてしまうことは分かっていますが、私はこれまでに何度もこの話をしてきました。

70年代のあのシャンプーのコマーシャルを覚えていますか？ 誰かの注意を引きたかったら、ささやいて。ああ、それは効くね。ほら、ごらんなさい！ 皆さんは今すごく注目しています。皆さんが自分自身を見ることができたなら！ 皆さん、こんな感じです。なに？なに？それが真実ではありませんか？ 叫んでいる時は、声を上げている人には耳を貸さない傾向がありませんか？ 私の母がそうでした。良い母だったんですよ。子供の頃、母はこの一定の音程に達するんです。この一定のキーです。母が到達するのは、非常に高いオクターブのキーでした。強い訛りで、彼女は私に大声で叫ぶんです。「ワヒドー！」

彼女がそのキーに達するや否や、私の耳に蓋があったら、それらは閉じられていました。ちなみに、耳に蓋はありません。その先のことは何にも聞こえませんでした。私が聞いたのは「ヤヤヤヤヤ...」それだけでした。

しかし、彼女が私のところに来て、「ワヒード」と囁くこともありました。「え、何？」

彼女は小さな声で私に穏やかに話しかけるのです。それが私の注目をひきました。それが今日主が私たちに語っていることだと私は信じています。耳のある人、または耳が2つある人は... 私たちは皆...誰か...？ ここにいるみなさんはみんな耳が二つありますよね？ うん。よかった。

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」旧約聖書では至る所で頻繁に、神が宣言されま

す。「イスラエルよ、聞け。」 「聞け...」 聞いていも、実際には聞いていないことがありますよね？ 誰かがあなたに話しかけています。あなたは彼らが何を言っているのか、実際には聞いていません。つまり、あなたは聞いているのですが、実際に彼らが言っていることが何なのかを聞いたり、聴き取ったりしていません。そして、その理由はしばしば私たちの生活があまりにも騒々しいからです。

私の書庫には、ある本があります。チャック・スウィンドールのすばらしいディボーションナルです。

「Intimacy with the Almighty (全能者との親密さ)」というタイトルです。私が長年にわたって何度も何度も読んだ、愛蔵のディボーションナルです。ごく最近にも、私はそれをもう一度読みました。彼は彼自身の苦悩のことも語っています。特に牧師として。簡素化して... 私たちは自分たちの生活をとて複雑にしているからです。やれやれ。私たちの生活はとても忙しく、私たちの生活はとても騒がしいです。スウィンドールはこう書いています。「雑音や言葉、狂ったように多忙なスケジュールは感覚を鈍らせ、神のかすかな細い声に対して私たちの耳を閉じ、私たちが神に触れられても感じられなくする。」

彼は本の中で後にこう書いています。独りになって静まる時間を持つことだけでも、彼にとっては大きな挑戦だった、と。そこで彼は、主がかすかな細い声で語られるのを聞くことができました。私は、主が皆さんや私に何を言おうと望まれているのだろうかと思います。私たちが生活を静ませ、神の御声に耳を傾けさえするなら。聖書で神に大きく用いられた、私の大好きな人物の一人は、エリヤです。私はこの男が大好きです。驚くべき男です。突然あらわれて、「神は生きておられる！」この男は、力強い神の人でした。大きく神に用いられました。そして、この場面に来ます... それは1列王記の18章にあります。エリヤについて私が話したいことに至るまでの背景をちょっとお伝えしたいと思います。

彼は、バアルとバアルの預言者たちと、コンテストをしています。場所はカーメル山です。イスラエルにご一緒した皆さん、私たちはそこを訪れました。ここで、バアルの預言者たちは、彼らの神のことで、エリヤとこのコンテストをしています。真の生ける神に対立して。そこで、彼らが先ず挑戦します。

彼らはこの祭壇を用意し、いけにえを用意しています。彼らはそのいけにえを焼き尽くすために、天から火を呼び降らせようとしています。それで、バアルを崇拜している人たちは、大声を上げて自分たちの体を傷つけています。とても興味深いですね。ですが、彼らの神、バアルの影も形もありません。

そして、その描写で語られているように、これは数時間続くようです。午前中の大半と午後にかけても。そして、エリヤはそれを楽しんでいます。エリヤのこういうところが私は大好きなんです。と言うのも、彼はこれをすごく楽しんでいるんです。とても面白がっています。そして、彼は言ってみれば、彼らをなじって、こんなことを言います。

「ねえ、もっと大声で叫んだらいいのかもしれないよ。もしかしたら彼は難聴なのかもしれない。もっと大きな声で叫んでごらんさい。」

そこで、彼らはますます大きな声で叫びました。それでも何も起こりません。実はエリヤは...

赦してくださいね。でも、聖書に書いてあるんです。1列王記18章。とにかく、自分で読んでみてください。エリヤは実際に彼らに言います。「彼はトイレに入っているのかもしれない。」いいえ、それはJDV訳による1列王記18章です。言い換えれば、「彼は忙しい。彼は用を足している。彼にはあなたの声が聞こえていない。」これが続いて、ついにエリヤはこんな風に言います。「よし、私の番だ。」彼は言います。「ここで間違いなく、はっきりさせるために、この上に水をたくさん注ごう。」

そして彼は天から火を呼び、神はその祭壇、そのいけにえを焼き尽くします。そのバアルの預言者たちは取り乱しています。そして彼はバアルの預言者たちを殺します。それがイゼベルの耳に届きます。このものすごく邪悪な女は、この非常によこしまな王、アハブに嫁いでいます。そして彼女はエリヤの殺し屋を雇います。そして、エリヤはどこへ行きますか？ああ、彼は一目散に逃げて、洞穴に隠れます。それだけでも、また別の機会のトピックになります。彼は実際、神に自分の命を奪ってもらいたいと思います。うん。これまでだ。私は彼が神に幻滅していると言いましょ。彼は神が彼のことを失望させたように感じています。彼はバアルの預言者たちを打ち負かし、殺したばかりのところですよ。そして今、彼は考えています。「神よ、なぜイゼベルの始末をしてくれなかったのですか？なぜ、今こうなった後で、彼女が私にこんなことをするのを許されるのですか？

そして彼は失望しています。神は、神がなさるだろうとエリヤが考えていたことをしませんでした。もしかしたら今日ここにいたあなたも、 そうかもしれません。そこで、これから、神は彼に語られます。しかし、想像するような仕方ではありません。私はエリヤを想像する時、 ドラマチックな人を思い浮かべます。と言うのも、彼の人生を通して...

彼はとても情熱的な男でした。彼は力強い預言者でした。彼はすごく火が好きだったような印象を受けます。ただ言ってみただけです。彼が 放火魔だったと言っているわけではありません。私が言いたいのはただ、 神が彼に語りをするなら、きっと、火を使って語られるだろう、 ということです。と言うのも、彼は天から火を呼び降らせただけではありません。ですから、神が火を通して語られるだろうというのは理にかなっていないのでしょうか？ いいえ。というわけで、今、彼は洞穴にいます。神が彼に現れます。そして、こうあります。「主は仰せられた。『外に出て、 山の上で主の前に立て。』すると、そのとき、主が通り過ぎられ、主の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風のあとに地震が起こったが、地震の中にも主はおられなかった。地震のあとに火があったが、」ああ！ 火だな。私たちが話しているのはエリヤです。 たしかに神は火の中におられるだろう！ いや。「火の中にも主はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。」

私が考えているのは、こういうことです。私たちは「大きなもの」を望みがちです。そして、そのようなものとして、 私たちは「小さなもの」に耳を傾けていません。私たちの耳は大きな音に向けられています。 そのため、私たちの耳は静かなものに波長が合わされていません。私たちの心を静ませること。

例として。最近... これは最近のことです。すべてがオフになっています。私と主だけです。ドアには鍵がかかっています、すべてが静かで、すべてがシャットダウンしています。ただ、「主よ。お話しください。」しばらく時間がかかりました。私は忍耐強くなければなりません。 忍耐ということになると、皆さんには私が何を言っているか分からないことは分かっています。しかし、ただ主が語られるのを 辛抱強く待っています。そして主は語られました。たまらなかったと思います。今この機会を見られて。火の後、地震の後、騒音の後、すべてが通り過ぎて、そしてシャットダウンしたあとで、やっと、わたしはあなたの注目をひいている。

「わたしはあなたに見せたいことが いくつかある。」 「あなたに言いたいことがあるのだ。」とても個人的、非常に預言的、非常に深淵でとてもパワフルなこと。そして神は私にあることを明らかにされました。それは私がかかなり長い間、王座に向かって嘆願していたことに対する答えでした。私には、自分が良い決断をしたことがいつも分かるのは、唯一後悔することが、もっと早く決断しなかったことである時です。そして、その時唯一後悔したことは、私がかこれをもっと早くやらなかったことです。すべてスイッチを切って、すべてを静めて、そして、ただ主と二人きりになります。主と時間を過ごし、そして、主が言わなければならないことに 耳を傾けるのです。主があなたに何を言わなければならないか、あなたはびっくりするかもしれません。

こう想像してみてください。 あなたの人生で、神はあなたのために何かを用意されています。神があなたに明らかにしたいと望まれていることです。でも、あなたはあちこちにいます。あちこちに行くのに忙しく、多くのことで忙しくしています。私は、イエスの足元に座っているマリアのことを思います。

そして彼女の姉のマルタのことを。...私はマルタです。私はマルタに対して、とても優しい気持ちになれます。知っていただきたいのですが、 私には彼女の痛みが分かるからです。

「我々にはやることがあるんだ！」事実、マルタは皆さん方「マリアさんたち」に腹を立てています。そうでしょう？ マルタはそうしたんでしょう？

「イエス様！ 立ち上がって台所に行って私の手伝いをするように、妹に言ってください！

私たちにはやることがあるんです！」イエスが厳しい音を使っていると想像してはいけません。

イエスはただ彼女に言います。「マルタ。マルタ。」「ほらあ。おかしくて最高だね」とは言われませんでした。皆さん、お分かりですね。...「マルタ、何をしているんだい？ マリアはより良いものを選んだのだ。わたしはいつもここにいるわけではないのだよ。台所はあとでもいいんだ... わたしはここにいるのだ。」彼女はひとつひとつの言葉にかじりついていきます。彼女の羊飼いの声に耳を傾けて。そして羊は羊飼いの声を知っています。イエスが彼女の人生に語る時に。イエスがマルタに、彼女（マリア）からそれを奪うことはできないと

言われるのは 興味深いと思います。そして、何がそんなに興味深いかというと、 イエスが言っておられたのが、「わたしがここでやっていること、そしてマリアがここで聞いていることは、決してむなしく戻ってくることはない。あなたがしているその台所仕事は、ずっと後には忘れられている。これはそうではない。これは良い方のことです。」それが悪いことだと言っているのではありません。これはただもっと良いことなのです。イエスの足元に座って、そして主にあなたの人生に語っていただくのです。

もしかしたら... おそらく私はこの話をするべきなのでしょう。私は先立ってそれについて主に尋ねてみました。もしかしたら、主は、あなたが赦していないことの圧倒的な重さから、あなたを解放されたいのかもしれませんが。そして、そうするために、神があなたに働きかけることができる唯一の方法は、あなたを一人にすることです。静かに。じっとして。神があなたにそれを与え、あなたにそれを語るができるように。そして、あなたをそれから解放することができるように。もしかしたら、それは家族の一員かもしれませんが。もしかしたら、それは最愛の人かもしれませんが。

もしかしたら、それは夫や妻かもしれませんが。そして、あなたはこの苦い根が成長し、芽を出すのを許しました。そして、それはあなたの人生を破壊しています。それはあなたを破壊しています！彼らのことでもなくて、あなたを！そして、主はあなたをそれから解放したいのです。こんな言い方は、おそらく、最善の言い方ではないのですが、神には問題があります。-神が問題を抱えているわけではありませんが-しかし、もしも神に問題があるとすれば、その問題はこういうものでしょう。神は私たちに何かをおっしゃりたくて、私たちに何かを教えたいと望まれるのですが、神はまず私たちの注意を引かなければなりません。私たちの生活がとても忙しいからです。私たちの生活のボリュームが、とてもうるさいからです。ですから、こんな風に言えるとしたら、神が抱えている問題は、神が、あなたを独りきりにし、あなたの注目をご自身だけに向けさせる方法を見つけ出さなければならないことです。あなたに語るができるように。エリヤにとって、それはすごく劇的でなければなりません。このバアルの預言者たちとの一部始終の後で、彼はその場所に来なければならず、彼はそのほら穴の中にいます。これで神はエリヤの注目をひきました。そして今、神はエリヤの人生に語りようとしておられます。キリストの体にはたくさんの「エリヤ」がいると思います。そして、神は私たちの注意を引かれなければなりません。神が私たちの人生に語るができるように。

では、2つ目です。11節と12節です。私たちが外の人たちの尊敬を勝ち取るということなのです。

これは面白いです。そして、それがとても面白いのは、パウロがこう言うからです。「それを志しなさい！」これを目指しなさい！「志」には何の問題もありません。利己的な野心は問題です。志は、問題ありません。敬虔な志を持つこと、敬虔な事柄を目指すこと。彼はここで、「志しなさい」と言っています。

これがあなたの目標であるべきです。何が目標ですか？何を私の志とするのですか？ああ！落ち着いた生活を送ること。そして、自分の仕事に身を入れ・・・ああ、私はこれ1つだけでも、たっぷり説教をすることができます。自分の仕事に身を入れる。そして、彼はさらに突っ込んで言います。「自分の手で働きなさい。」乏しいことがないようにするため。あなたが尊敬を勝ち取るように。考えてみたら、本当ではありませんか？落ち着いた生活、このような生活、人が自分の仕事に身を入れ、主の栄光のために、主に対するように力を尽くして働く生活。彼らには何かこの単純さがあって、どこか、この落ち着きがあります。そして、彼らは敬虔な、落ち着いた生活をするを自分たちの志にしたのです。今日私たちが生きているような世界では、それは際立ちませんか？ところで、外の人々、未信者、世界は、これを見て、それに気が付かないと思いますか？使徒パウロが言っています。「私たちは生きた書簡、生きた手紙です。」言い換えれば、私たちの生活という手紙は、外の人々に読まれています。彼らは私たちの生活という手紙を読んでいるのです。そして、彼らは2つの質問をしています。皆さんはこれらの2つの質問が何かを知っていますよね？私たちはそれについてかなり頻りに話しています。世界がクリスチャンに尋ねている最初の質問は：「それは本物か？あなたは『ほんまもの』ですか？」

「私は、ただの偽善者に過ぎないクリスチャンに、あまりにも多く出会ってきました。」

「彼らは本物ではありません。彼らは『ほんまもの』ではありません。」

「彼らと私たちの間に違いはありません...」月曜日の朝には。もちろん、日曜日は...「フー！」

家族を連れて車で教会へ向かっています。駐車場に入る前に、後部座席の子供たちを叩きます。それから駐車場に入ると、満面の笑みです。「主を賛美します！」それは日曜日の朝です。しかし、日曜日の朝の後に何が来るか知っていますか？これが非常に奥深いことは分かっています。月曜日の朝、それから火曜日の朝。そこで彼らは「それは本物ですか？」と尋ねています。

2番目の質問は、「それはうまく行きますか？」そして、聞いてください。彼らはあなたが「ほんまもの」であり、それがうまく行くことを望んでいるのです。なぜなら、あなたが「ほんまもの」であり、それがうまく行くのなら、彼らには希望があるからです。そして彼らは私たちを見ています。あなたが雇用主であるなら、それらの従業員たち、それらの同僚たちが、あなたを見ています。彼らはあなたの人生の手紙を読んでいます。そして、あなたには特有な何かがあります。あなたにはどこか違うところがあります。そして、それが彼らを「勝ち取る」ものです。彼らの尊敬を勝ち取ります。今や、私は彼らの人生に語りかける権利を獲ました。何年も前、私がメルセデス・ベンツで働いていたとき、年配の紳士がいて、彼は私よりもかなり年上でした。私はまだ20代で、その頃は髪の毛がありました（涙）ともかく...言わば、..

彼は私を見ていて、私は彼に見られているのを知っていました。私は新入りで、ただの若い青二才です。彼は年長のベテランで... 経験を積んでいて、「若造くん、一つや二つ、教えてあげられるよ」と言った感じでした。奇妙な力関係でした。そして、彼の奥さんが診断を受けました。彼が自分と一緒に祈ることを誰に頼んでいたか、分かりますか？彼は私に頼んできたんです。彼と一緒に祈るように。と言うことは、彼は私の人生を見ていて、そして私の人生について、それらの質問をしていたんです。それで彼の人生にそのことが起こったとき、私は彼が私の所に来る権利を獲得していました...彼はすぐくへりくだって...彼はナンバーワンの男だったんです。彼には年功と尊敬がありました。彼こそ、男の中の男でした。誰もが彼のようになりたく願っていました。そこにこの私です。彼の子供は私より年上です。

私が現れます。「この子には何か違ったところがある。」「ああ、それが何なのか分かったぞ。ふうむ。」信者でない人が私たちの生活に目を留めて、私たちの生活の手紙を読んで、彼らが読むものが「ほんまもの」である時、神は私たちにおいて、栄光を受けられます。そして、その未信者は私たちに惹かれ、そして、彼らは私たちが持っているものを欲しがるでしょう。私たちが今朝賛美していた時に、主が私に思い起こさせたことの一つは、思い出す必要がすぐあったもので、私はこれを聞かなければなりません。私はまだ少し...「緊張する」とは言いたくないのですが、しかし、私がこの説教壇の後ろに立って、神の御言葉を説教し、教えるという、この重大な特権の深刻さ...ここに立つ前に...本当に、私はこれを非常に真剣に受け止めています。私が「聖なる地」に立っているのは、とても厳粛な現実です。時々、私は神経で参ってしまいそうですが、主はとても誠実で、主はただ私に、私の心に語り掛けて言われました。「彼らがここにいるのは...これらの人々がここにいるのは、あなたの話を聞くためではない。」はあー！ふう！良かった！

「彼らがここにいるのは、わたしの言うことを聞くためだ。」「だから彼らはここにいるのだ。」

「あなたはただのスポークスマンだ。」プレッシャーを取り除かれるとは、このことです。

「ありがとうございます。主よ！了解です。」「では...お話してください。」「私はただのスポークスマンになります。」「あなたが私を通してお話してください。」

神がそうされる時に、何が最高か、知っていますか？しばしば、おそらく私の場合、他の人よりも頻繁に、神はあなたに、私が説教したのとは異なる説教を聞かせるんです。そして、私はそのことのために神を賛美します。と言うのは、私が話すにつれて、彼は聖霊によって、あなたの心の中でその必要に応じて、ことばを微調整されます。神にはあなたの心が見えるからです。私はあなたの外見だけを見ています。ちなみに、皆さんは今朝、全員すばらしく見えます。みんなです！しかし、神は外見を見られません。神はあなたの心を見られます。そして神は、ここにいるすべての方々の、すべての必要性、すべての心を知っておられます。それで神は...「神の言葉はむなしく帰っては来ない」ので、（イザヤ55：11参照）彼はご自分のみことばを取り、あなたの心のためにそれを祝福されます。あなたの理解のために。あなたの耳のために。あなたの目のために。それで、神は「あなたの理解の目」を開かれます。

神はあなたの耳を開き、あなたの心を開き、それからあなたは教えられます。このように愛することを教えら

れた テサロニケ人のように。チャック・スウィンドールからのもう1つの引用で 締めくりたいと思います。でも、私は忘れてしまいますから、 忘れる前に、今日、主が私にもう一つ、 ガラテヤ人の中から教えておられるのは、 ガラテヤ人への手紙第5章22節です。

聖霊の「実（単数形）」として 皆さんもよく知っていますね。それは、なぜ、聖霊の「（複数形の）実」ではないのでしょうか？ いいえ、それは聖霊の実、単数形です。なぜでしょう？なぜなら、その実（単数形）は愛だからです。そして、彼らが互いに愛したように、 あなたがそのように愛するなら、「愛の実」から何が来るか、知っていますか？ ああ... 喜び、平和、親切... 今は、私たちが色々と新年の決意をする時期ですね。ちなみに、私はそうするのをやめました。なぜなら、1月3日頃には、 私はもう失敗しているからです。それで、今私がしていることは、 私はただ祈って、言います。「主よ...」たとえば、今年は、私は、もっと優しい牧師、もっと優しい父、 そしてもっと優しい夫になりたいです。そこで私は主に 「私をもっと優しくしてください」と 願いました。私はもっと優しくになりたいんです。では、私はどのようにしてもっと優しくなるのでしょうか？ 愛の実によって。なぜなら、あなたが愛し、 神があなたの人生で「愛の実を結ぶ」時、その愛の結果として来るものは 親切（優しさ）だからです。そして柔和。そして穏やかさ。私はもっと穏やかになりたいのです。

「主よ、私をもっと 穏やかな男（ジェントル・マン）にしてください。紳士（ジェントルマン）、 その語源を知ってますよね？分かってます。 これもまた非常に深いことですよ？紳士（ジェントルマン）、 ジェントル・マン（穏やかな男）？ あなたはジェントルマンですか？ 私はもっと穏やかになりたいです。チャック・スウィンドールはこう書いています。

「私が物事に手を出さないでいると、 神のみこころが達成され、神の御名が称賛され、神の栄光が拡大されます。」皆さんは、自分の人生において、 人々を主に引き付けたいですか？それならば、静まって、 あなたの生活のボリュームを下げ、神がどうされるかを見てください。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。

主よ、私たちがテレビやソーシャルメディアの前で 過ごす時間から、ほんの少しだけでも割いてあなたと一緒に過ごすなら、私が思うに、私たちの生活に、どれほど劇的な変化が 起こるのでしょうか？

主よ、私は自分自身のことを語っています。主よ、場合によっては何時間もあるかもしれないうちの、ほんの少しだけだとしても、どんな変化が起こるのだろうかと思います。主よ、私たちはそうしたいです。それを望んでいない人がここに一人でもいるとは思いません。しかし、私たち自身でそれを行うことは絶対にできません。あなたが、聖霊によって、私たちができるようにしてくださらない限り。あなたがそうしてくださることを祈ります。イエスの御名において。アーメン。

メッセージby JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7